



新議員の議席決定

新議会構成	2～3 P
5月臨時会・6月定例会概要	4 P
議案審議	5～6 P
一般質問に4議員	7～10P
一般質問のゆくえ・委員会活動・人事案件	11～12P
町民の声・議会報告会回答報告	13P
えがったなあ・編集後記	14P



5月2日の初議会

議長に 信夫正雄氏再任 副議長に 八鍬 太氏再任

議会 新構成決まる

5月2日の臨時会で議長、副議長を10人の議員の投票による選挙で選出しました。各委員会の所属議員も決まり、新たな決意で住みよい町づくりに取り組みます。



7番 野尻益夫 議員



6番 大場清之 議員



1番 佐藤 勇 議員



8番 叶内富夫 議員



5番 加藤憲彦 議員



9番 八鍬 太 議員



4番 佐藤広幸 議員



10番 信夫正雄 議員



3番 斎藤好彦 議員



2番 奥山謙三 議員

質問者席

議長あいさつ

議長 信夫 正雄

東日本大震災にて被災されました皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。町においても地震による停電やガソリンの供給不足等、今まで経験したことのない生活面での不安、不便さを感じ、改めて自然の営みの大きさを痛感致しました。地震の余韻が覚めやらぬ中、統一地方選挙により、町民の皆さまの負託を受けた10人の議員が、意志堅固、志を高く持つて新たな舟形町議会が船出致しました。

私も再度議長に就任致しましたが「次世代へつなげる夢のある町づくり」を目指し努力したいと思っております。暑さきびしき折、町民各位のご健勝をお祈り致します。

議会運営委員会

議会の会議規則、委員会条例などに関する事項。議長の諮問に関する事。議会運営に関する事。

- 委員長 叶内富夫
- 副委員長 加藤憲彦
- 委員 野尻益夫
- 委員 大場清之

議会広報編集特別委員会

議会審議および活動のようすを広く町民にお知らせするため、定例会ごと(年4回)に議会だよりを編集し発行する。

- 委員長 加藤憲彦
- 副委員長 奥山謙三
- 委員 佐藤広幸
- 委員 斎藤好彦
- 委員 佐藤 勇

総務振興常任委員会

総務費・農林水産費・土木費・上下水道・集落排水事業などの事務に関する事。

- 委員長 野尻 益夫
- 副委員長 佐藤 広幸
- 委員 八鍬 太
- 委員 加藤 憲彦
- 委員 奥山 謙三

議会まち活性化特別委員会

議会改革を含め、町の活性化についての課題を調査し、町に提言していくことを目的とする。

- 委員長 八鍬 太
- 副委員長 叶内富夫
- 委員 議長を除く全員

文教民生常任委員会

民生費・衛生費・教育費・国民健康保険・老人保健・後期高齢者・介護保険などの事務に関する事。

- 委員長 大場清之
- 副委員長 斎藤好彦
- 委員 信夫正雄
- 委員 叶内富夫
- 委員 佐藤 勇

議会選出委員等

- 最上広域組合議会 加藤 憲彦
- 監査委員 大場 清之
- 消防委員 叶内 富夫
- 国民健康保険運営 奥山 謙三
- 佐藤 益夫

常任委員会とは

議会が条例で定め常設する委員会で、議員は、必ずいずれかの常任委員会に所属します。広範多岐にわたり専門化複雑化している行政事務を部門別の委員会で能率的に審議調査するため、○総務振興常任委員会 ○文教民生常任委員会 の2委員会を設置しています。各常任委員会は、それぞれの所管事務調査と、請願、陳情などの審査を行います。

※(所管事務調査) それぞれの委員会が分担している町の仕事について調べる事。そして、改善・改良すべきことを指摘したり、政策の提案などを行うもの。

特別委員会とは

特定の事件について調査審査する場合、特に必要と議会が認めるときに設置する委員会です。現在、議会広報編集特別委員会と議会まち活性化特別委員会を設置しています。



災害復旧工事（紫山）

第1回臨時会
5月2日
第2回定例会
6月7～9日

平成23年度一般会計補正予算

総額1億3,950万円

6月定例会は、7日から9日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。
また、舟形町議会まち活性化特別委員会の設置について議員発議により提出し、本議会で可決しました。

主な付議事件

臨時会（5月2日）

○平成22年度一般会計・特別会計補正予算の専決処分承認
定例会

○平成22年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

○（株）舟形町振興公社経営状況の報告

○舟形町立学校設置条例の設定
（平成25年4月小学校統合・名称舟形小学校）

○町国民健康保険条例の一部改正

○町監査委員の選任

※（繰越明許費）歳出予算のうち、その性質上または予算成立後の事由により年度内に支出が終了しない見込みの経費で、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰越し使用できるもの（財政法14条3項）

- 創意工夫プロジェクト支援事業
4,891万円
- 道路維持事業
1,280万円
- 農業用施設災害復旧事業
1,986万円

質疑応答

臨時会

議員 公共下水、農業集落排水、簡易水道の補正予算はどのような災害復旧工事に使われたのか。

地域整備課長 公共下水は紫山地区の下水管破損の修繕と洗管調査に使用しました。農業排は施設の復旧工事と排水処理作業に使用しました。簡易水道は長沢配水池と幅配水池を結ぶパイプスの漏水修繕等、原田山地区のポンプの修繕に使用しました。

議員 震災後の停電時に町からの第一報が「公共下水に水を流さないで欲しい」と広報車が回ったと聞くが人命の安否確認が先ではないのか。

総務課長 人命の安否確認や高齢者の確認はそれぞれの担当で行っていました。夕方になる時間帯だったため使用する上下水道が増えると停電でポンプが使用できない状況でしたので防災無線が使えるようになってから放送を行いました。

議員 震災後、簡易水道を引いていない家庭への支援や呼びかけをしたか。

産業振興課長 水道を利用していない家庭も含め水圧の低い場所については断水の可能性があるため「給水が必要な方は申し出て下さい」という広報を行いました。一家庭からの給水の申し出がありました。今後とも非常用飲料水袋水パック等を常備しながら対応します。

議員 4,060万円の地方交付税の内4,000万円を公共施設建設基金に積み立てずに財政調整基金に積み立てて今年の災害や雪害の対策にあてるべきではないか。

総務課長 2年後の小学校統合へ向けて改修工事等の支出が見込まれるので、今回積み立てることにしました。災害や雪害への対応は現在7億7千万円ある財政調整基金で対応可能です。

定例会

議員 農地災害復旧への支援が必要だと思うが、その対応基準はどうか。

地域整備課長 災害は日雨量で80ミリ以上雨が降った場合に該当になり、農地災害は40万円以上が該当となります。それ以下の場合は町単独15%の土地改良施設補助で対応します。

議員 若あゆ温泉を障害者も入浴出来るような施設に整備してほしい。また、玄関から浴室までの移動のためのシルバーカーの設置の要望がある。

産業振興課長 受け入れる場合、体制を万全に対応する必要があります。シルバーカーの設置についても取締役会で十分検討していきます。



若あゆ温泉玄関スロープ



佐藤広幸 議員

働ける環境を整備し雇用を増やせ

通勤費補助も内部で検討

質問 総務省統計局が発表した平成23年2月分の労働力調査によると就業者数が6,211万人で前年同月比26万人の増加雇用者数でも5,475万人で前年同月比47万人の増加となっています。全国的に雇用労働の場が数年前より改善していますが、舟形町ではそれ

を実感するに至っていません。特に全国的に失業者数の多い25〜44歳までの雇用の場をいかに増やすかは町発展の重要課題です。現在失業者数の把握と対策はどのように行っているのか。今後の就労対策として村山地方や仙台宮城まで

も通勤圏内に入れていくために、職場までの通勤費の補助を行い遠距離通勤者の支援をすべきです。長崎県吾岐市では年間最高50万円の通勤費補助（フリー代）、広島県安芸太田町では高速料金の一部を補助し、一定の成果が出ています。



更なる雇用対策を（役場庁舎）

また、舟形マシニングの加工所の整備や規模拡大により6名の雇用、介護老人福祉施設「ほなみ」の増床工事により10名程度の雇用、ねぎ産地づくりによる選果場整備では約40名の雇用が新たに見込まれます。職場までの通勤費の助成ですが、本来この手当は企業の経費であり、町税により支援する内容とはいささか異なるものであると考えます。

むしろ、舟形町に転入定住するという施策に重点をおき、今年4月からスタートしたヴィーナス定住推進交付金や在来工法助成金、若者定住支援交付金、子育て支援交付金などの支援を積極的にPRしながら定住事業を進めます。しかし、議員が言われた他市町村で行われている通勤費補助の事例も一つの意見として内部で検討してみたいと思います。



放射線測定器

議員 放射線測定器購入費補助金で放射線測定器を購入したのか。

総務課長 今回予算が可決されたら購入します。活用については健康面だけでなく、農業等の分野でも活用して、幅広く有効活用していきます。

議員 防犯対策費7万4,000円の内訳は。まちづくり課長 向山地区から要望されている防犯灯3基の事業費24万6千円に対して防犯灯設置補助金の規定に基づくと30%の補助になります。



防犯灯設置前（向山地区）

議員 労働費の緊急雇用対策事業での消耗品費、諸車借上料の内容は。

まちづくり課長 県で被災者雇用の為に新たに被災者だけの特枠で対応することとなり、町では申込があつた3名の予算を計上しています。消耗品については作業服代、諸車借上料については緊急雇用期間6カ月間のレンタカー、機械の借上料となり全額県から交付されます。



鮎養殖場（長尾）

議員 水産業費201万円は三光堰養殖場補修事業費補助金となっているが、三光堰が鮎の養殖を再開するのか。

産業振興課長 若鮎まつりに供給する鮎を小国川漁協組合に委託しています。鮎の養殖に三光堰の施設を利用している、小国川漁協組合が補修工事を行います。事業費内訳は池の補修工事168万円、ポンプ攪拌機、用水ポンプ332千円です。補助規程は舟形町産業振興事業で、水産業振興として、助成額は町長が定める額となります。



奥山謙三 議員

協働のまちづくりを進めるために

互助・共有・自立によるまちづくりの推進



協働のまちづくりへ向けて（ワークショップ）

質問 私のスローガンである、「協働のまちづくり」を進めるに当たり、町民・町（職員含む）議員が一体となり行う事が大切と考えます。昭和59年10月制定された「舟形町町民憲章」の中に、目指すべき町のあり方が明記されています。

この憲章を町主催の会議の前に全員で復唱し周知を図り、意識の統一を進めるべきと思います。協働の町づくりを進めるためには、町職員がもっとも町民と語らい、信頼関係を構築する必要がありますが、さらなる信頼関係を高めるた

めの方策・具体的実践について伺います。

町長 現在、会議等における朗読、復唱は自治功労表彰式のみ行っています。また、町内会長会議や各会議資料に町民憲章並びに町の木や花、鳥も掲載し、課長会議等に

おいて、資料として添付するように指示もしています。朗読、復唱はたいへん良いことだと思いますのでその方向で進めていきたいと思いますが、全ての町主催の会議時に行うことは、会議の開催頻度、会議時間の設定、会議資料の削減にも取り組んでいますので、個別に判断させていただきます。職員が町民と語らい、信頼関係を構築する必要がありますが、協働のまちづくりを進めるため、まちづくり課を新設し地域の課題を地域と一緒に解決することとしています。また、地域における話し合いを行い、地域の結束力を高めることや地域自らが自覚し、地域内の互助・共有・自立による協働のまちづくりの仕組みを創りあげていくことが大事であることから、町の方では押し

付けではなく、地域が能動的に地域づくりを推進していくように誘導していきたいと考えています。地域と町との信頼関係はそれなりに構築されていると考えており、各町内会長さんからも職員は頑張っているとの評価をいただいているところでありますが、職員に対する期待もあり、指示していきたいと考えています。

質問 町民憲章5項目の何を今優先しているのか伺います。

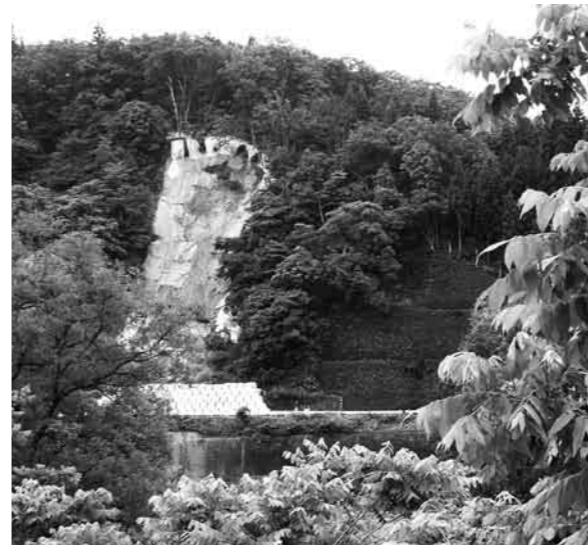
町長 今年度から1課を増設して8部署7課長で業務を分担することとし、82名の職員が丸となり第6次基本構想の実現に向けて取り組みます。これを優先するということではなく、5項目すべてに努力していきたいと考えています。



齋藤好彦 議員

舟形町の危機管理対策は万全か

災害に強いまちづくりを目指して



崩落場所（本堀内）

質問 私たちの町では近年大きな災害もなく、災害に対する危機管理意識が薄れつつあるなか、今回の東日本大震災規模の地震が舟形町を直撃し、家屋の倒壊、火災、土砂災害などが発生した場合、現在の危機管理対策で万全なのでしょうか。

日頃から、町民一人一人が防災意識を持ち、町と町内会が一体となった危機管理マニュアルを策定し、安全・安心なまちづくり実現のため、より具体的な危機管理対策が必要であると考えたことを提案いたします。①町民の声を取り入れた

「舟形町防災計画」の見直しと早期策定。②町民の住宅および各施設の耐震診断調査と補強工事の実施。③災害時の司令塔としての機能を装備した「災害対策室」の設置。④災害に備えた意識の高揚を図るため、各家庭へ「非常持出袋」の配布。⑤小学校統合による空き校舎を災害時の避難所として活用できる施設に。

の「地域防災計画」の見直しを受けて町の防災計画の見直しを図っていきます。町民の意見を最大限に取り入れながら、防災計画の策定に取り組み、災害に強い、安全で安心なまちづくりを目指していきたくと考えています。②町が管理している学校施設を含めた公共施設の耐震診断調査を必要とする施設の調査は完了し、安全を満たさない施設については耐震補強工事を実施しています。個人の住宅についても、耐震診断調査や耐震改修工事の予算化を行い地震に強い住宅の推進に努めています。

町長 議員が指摘されまますように今こそ危機管理対策を真剣に議論する必要があると強く感じています。「災害はいつでも起こりうる」可能性がある「との災害に備えた意識の高揚を持ち続けることが重要ではないか」と思っています。①平成12年に策定された「舟形町防災計画」を国の「防災基本計画」や県

③耐震診断調査の結果、役場庁舎は耐震性が低いようです。災害対策室を設置した防災センター（仮称）は、庁舎を改修するか、別の場所に造る

かを皆さんからもご意見をいただきながら検討します。④平成21年3月に全戸に配布した災害関係のパンフレットの中にも非常持出エックリストというのがありますが、非常持出袋についても災害に備えるという点で検討していきます。⑤防災計画の中で学校も避難場所に指定されているので体育館の利活用はできるが、教室等の内部改造までは考えていません。ただ、これから地域防災計画の中で考えて行く余地はあると思います。



議員 富夫 叶内

再度町政への意欲は

躍動感あふれる町づくりのため、2期目に挑戦

質問 町長就任、3年数か月が過ぎよつとしています。公約を着実に実行し、数々の施策の成果を上げられました。「出会い・ふれあい・支え合い」新たな結いの創造」をキャッチフレーズに第6次舟形町基本

構想が策定され、事業が展開されています。25年度に4つの小学校を1校に統合する事業も決定され統合に向けた準備も着々と進められています。いろいろ大きな政策課題が山積みされている中、奥山町長は再度町政に取



奥山町長が決意を表明する

り組んで行くのかを伺います。

町長 平成20年2月の町長就任以来、時代が大きく変化する中、議員各位並びに町民の皆さんのご理解とご協力、ご指導を賜り、最大限、行政課題の執行、具現化にその任を全うすることができ、心から厚く感謝申し上げます。

1つ目は町民の皆さんと行政が表裏一体の信頼関係において、公平、公正、平等の基本理念を貫くこと。

2つ目は、町民の皆さんと行政が知恵を出し合い、自助努力を基本に、まちづくり、人づくりを实践すること。

3つ目は常に町民はお客様であり、交流、対話を深めながら現場主義を

徹底し、自らが率先して行動すること。

この3つの施政方針で町民の皆さんの声やニーズ、要望、意見、提言を的確にとらえながら緩急性を選択し、柔軟でスピード感ある町政執行に全力投球してきました。

先ず「出会い・ふれあい・支え合い」新たな結いの創造」の第6次舟形町総合発展計画を着実に前進させるため、「1期目の政策課題の継続」、「新たな地域防災対策」、「統合小学校への取組」、「定住促進」、「雇用の創出」、「婚活と子育て支援」、「農業、福祉、観光産業の推進」、「交流人口の拡大」、「農・商・工・観連携による第6次産業の推進」、「環境・新エネルギー」の新たな取組「人材育成と地域づくりの活性化」等、これらの

具現化のため、次の世代に思いを馳せながら、町民の皆さんが
○心豊かで安心して元気に暮らせるように
○生きがいと自信、誇りが持てるように
○人と人とが絆を結び合えるように

躍動感あふれる町づくりのため、町民の皆さん並びに議員各位のご協力を賜りながら、2期目に立候補させていただき、その任に果敢に挑戦し、誠心誠意努力して参りたいと考えていますので、今後ともなお一層のご支援をお願い申し上げます。

☆シリーズ

一般質問のゆへえ

(平成21年12月定例会)

質問

舟形町では、80数名の従業員がいた㈱ウツシカフソーイングも撤退した。今後、町では雇用の場の確保をいかにして進めていくのか。

答弁

企業誘致に取り組むために、新たに誘致企業の紹介制度も盛り込んだ「企業誘致及び雇用促進補助金交付規程」を創設し、ウツシカフ跡地等への企業誘致に全力で取り組んでいます。

現状

昨年、㈱ウツシカフソーイングに代わり㈱TICを誘致できました。また、山形県とともに「企業誘致及び雇用促進補助金」など町独自の政策をPRしながら進めています。併せて国の緊急雇用による雇用の確保、福祉施設や農業施設の整備に伴う雇用定着化を図っています。

舟形町への企業誘致とともに最上8市町村が一緒になった新庄市福田山工業団地等への誘致も引き続き行っています。



議会広報研修会（山形市）

第28回町村議会広報研修会

5月24日、山形市の国際交流プラザにおいて、第28回町村議会広報研修会が開催され、県内各町村の広報編集委員が参加しました。当議会からも議会広報編集委員5名と事務局職員が参加し、編集のテクニックを学びました。これからも、読者の立場に立ち、読みやすく、見やすい広報紙を目指し、努力していきます。

一新議員研修

6月定例会を前に新議員研修会を開催しました。5月19日町総務課課長内政管財班長より町の予算の概要と財政状況について説明を受けました。また、5月30日山形県町村議会議長会の武田事務局長を講師に迎

中央研修

え最上郡内の新議員で議会運営の基本的なことについて学びました。

参加議員は議員としての研鑽を深め、今後町発展のために一層努力しようとする決意を新たにしました。

6月30日～7月1日、東京において中央研修を行いました。1日目は全国町村議員会館で山梨学院大学教授江藤俊昭氏と読売新聞特別編集委員橋本五郎氏の講義を受講しました。

2日目は、福寿野地内の町道岡矢場線に関する「県道舟形大蔵線と福寿野熊高線の交差点改良整備促進」と「堀内橋の橋梁整備促進」について参議院議員の岸宏一、舟山康江、衆議院議員の加藤紘一、和嶋未希、吉泉秀男の各氏に要望しました。



中央研修（東京）

全員協議会

●6月7日
平成22年度町一般会計予算繰越明許費繰越計算書、国民健康保険税条例の改正、地域密着型介護老人ホーム「ほなみ増床工事」、第2回小学校統合準備委員会について町当局より報告を受けた。

●6月8日
「舟形町議会まち活性化特別委員会の設置」「舟形町議会中央研修」「各常任委員会活動計画」について協議した。



本会議を傍聴する舟形小の3年生

舟形町議会 まち活性化特別委員会

6月定例会において、議員発議で特別委員会を設置することに決定しました。

その内容は

1. 名称 「舟形町議会まち活性化特別委員会」
2. 設置の根拠 地方自治法第110条並びに委員会条例第5条及び会議規則第69条による設置とする。
3. 目的 当議会において、舟形町の活性化を図るために議会改革を含め課題を調査し、町に提言していくことを目的とする。
4. 委員の定数 議長を除く9名の議員
5. 期間 平成23年6月9日～平成25年3月31日

正副委員長の選任も行われ、委員長に副議長の八鍬大議員、副委員長には議会運営委員長の叶内富夫議員が選任されました。

八鍬委員長より、特別委員会としての継続調査の申し出があり、所管事務について閉会中に調査することに決定しました。

○第1回まち活性化特別委員会（6月20日）

特別委員会の方針について協議し、「議会報告会」、「中学生議会」の開催を確認し、地方分権改革に対応する議会の活性化と充実を図るため、議会や議員のあり方を含め「通年議会の導入」、「議会基本条例の制定」、「議会、議員に関する条例、規定等の整備」等について検討していくこととした。

議会報告会回答報告

平成23年1月24日、25日に第2回舟形町議会報告会を開催し、各会場にいただいたご意見・要望等を議員全員で検討し、町長に報告しました。（議会だより4月号掲載）

今回は、それに対しての町からの回答をご報告します。なお、この報告書は開催地の町内会長へ文書で通知しています。（一部抜粋）

1 道路関係の質問要望

① 舟形2号線より里道に繋がるJR線鉄橋下部の道路改良整備を。

（回答）町で整備する道路については、町道、農道、林道となっており、指摘されている箇所は町管理の道路ではないので整備することができない。尾花沢新庄道路脇の町道があるので、安全な道路を通行していただきたい。

② 岡矢場線整備について早急に。

（回答）県道の舟形大蔵線交差点改良を要望しているのをご一緒に検討していきたい。

2 産業振興関係の質問・要望

① 農業振興について畑地化への町独自の助成を要望する。

（回答）舟形町土地改良事業補助金制度で対応している。土地改良事業に要した経費50万以上を補助対象として、15%以内（200万円上限）で補助金を交付している。

哀悼決議を可決（6月7日）

去る5月16日にご逝去されました元舟形町議会議長故伊藤道五郎氏の急逝を悼み、議員発議により哀悼の決議を可決しました。謹んで哀悼の意を表します。ここに、伊藤道五郎元議会議長のご生前のご功績を讃え、ご遺族並びに舟形町の前途に限りなきご加護を賜りますことをお願いし、追悼の言葉といたします。

監査委員の選任に同意



林 恭司氏
堀内339番地1
(62歳)

任期は
平成23年8月11日より
平成27年8月10日まで

議会だより4月号に次のとおり誤りがありましたので、訂正し、お詫び致します。
固定資産評価委員会委員の選任に同意（P19）
長者原304番地（正）
長 沢304番地（誤）

② 商店の閉鎖や高齢化が進む中で、商業の振興、買物弱者についての対策を。

（回答）町では情報観光館に職員を配置（緊急雇用対策）したり、プレミアム商品券（20%）の発行による町内業者の経済効果の拡大やNPO、ボランティア団体の育成支援、移動販売車の販売促進等を実施し商店会の活性化に向け対策を講じている。

買物弱者対策として、町営バス、タクシー等の交通手段を活用してほしい。

3 小学校統合関係

① 小学校の建物、跡地の有効活用を。

（回答）3小学校の校舎または土地利用については、小学校跡地検討委員会を組織して、具体的な検討を重ねていくことにしています。

② 各小学校の歴史を残す対策を。

（回答）各小学校の沿革を整理し、地域に貢献してきた従来の学校の役割などにも配慮しながら地域の関係者と共に検討していきたい。

4 定住・結婚支援関係

① 結婚支援について参加しやすいように配慮してほしい。継続したイベント開催を。

（回答）23年度も商工会に業務委託し、青年部や町内青年組織と連携を図り、8月と12月に婚活イベントを開催する予定。スキルアップセミナーの開催も計画している。婚活に関する情報提供も積極的に発信していきたい。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしています。

私が米の仕事に就く覚悟をしたのは、米には世の根、稲は命の根という語源があるということを知り、稲作で知ったことでした。この本には、農業技術ばかりではなく本場の豊かな生活、社会について無駄に見えがちな備えの大切さなど、農業が人間社会においていかに重要かが記されています。東日本大震災により私たちの生活、考え、会社経営、行政の在り方、全て見直す必要を余儀なくされました。また、農業においても厳しい環境が続きます。しかし、作物を作ることができ喜び舟形町で生活できる安心を、これほどまでに感じたことがあったでしょうか。

今後、舟形町主導の農業振興を強力に勧めることが舟形町の活性化につながると思います。



大場 宗一さん
(長沢第2)



新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



舟形町に嫁いで来たお嫁さん、今回は真室川町から松橋に嫁いで来た松井千草(旧姓井上)さんです。皆さんよろしく願います。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)
FAX 0233-32-2117(代)

□どんなきっかけでご主人と知り合いましたか？
共通の友人との食事会で知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
自然が豊かで、みんな優しくとても温かい町だと思いました。

□舟形町での生活はどうですか？
私も真室川の山奥で育ったので、松橋は山に囲まれ景色が良く、とても落ち着きます。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
朝と夕方の防災無線でいろんな事を知らせてくれる所。真室川は聞こえませんでした。悪いところは特にありません。

□舟形町に望むことはありますか？
赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが安心して元気に暮らせるよう、より良い町づくりを期待します。

編集後記

3月11日の東日本大震災が起きてから130日になります。まだ、大勢の行方不明者がいる中で政府の対応が進まないことに怒りを超えて情けなく感じている所です。1日も早い復興を祈るばかりです。

議会報の編集委員も新メンバーとなり、今後2年間新たな気持ちで努力していきたいと思っています。より親しみやすい議会報にしていきます。皆様のご意見ご感想等何でも結構ですのでお気付きの点がありましたらお寄せください。(加藤 憲彰記)



(信夫議長と新編集委員)